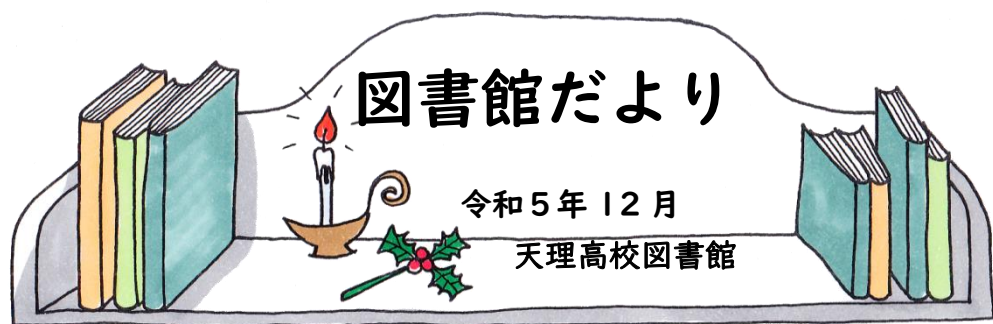




12月の図書館開館について

12月1日～12日 8時半～19時

13日～21日 8時半～16時半
(学校休校日は閉館)

12月22日～1月9日まで閉館します。

1月10日から、通常通り開館します。

「クリスマス」特集！！



クリスマスの本はたくさんありますが、その中で私が一番おすすめの本を紹介します。

『世界で一番の贈りもの』 マイケル モーパーゴ 評論社

この物語は、第一次大戦中の1914年のクリスマスに前線各地で起こった実話に基づいています。過酷で厳しく、日々、心をすり減らして闘う戦場で、クリスマスの喜びを共に分かち合おうと休戦し、塹壕から這い出し、酒を飲み、食糧を分け合い、サッカーをして過ごしたという「奇跡の1日」がテーマになっています。骨董品屋で見つけた机の引き出しの奥に、隠すようにしまわれていた手紙をみつける所から、お話が始まります。この手紙の送り主はイギリス兵士。愛する妻へ、「奇跡の1日」の話を綴っています。クリスマスが近づくと、毎年、皆さんに紹介したくなる本です。毎日、落ち着いたニュースが流れていますが、世界中の人々が、大切な人と笑顔で聖なる日を過ごしてほしいと祈らずにはられません。



「温活」特集！！

日頃から、身体を温めることは免疫力をUPさせます！身体を温める食材を積極的に取り入れ、足先を動かすなど運動を心がけ、本から知識をどんどん吸収し、あたたかい冬を過ごしてください。

『ダチョウはアホだが役に立つ』 塚本 康浩 幻冬舎

並外れた免疫力をもつダチョウ。2020年4月に京都府立大学学長に就任した、鳥を愛する博士が、ダチョウのすごさとアホさ、ダチョウ研究23年の悲喜こもごも、無限の可能性を秘めるダチョウ抗体などについて伝える。(TRC「内容紹介」より)



こちらに展示しています。👉

図書委員会主催による「青空図書館」開催！！

11月15日(水) 12時50分から総合体育館前で、「青空図書館」を開催しました。図書委員が中心となって企画した移動図書館です。選書、ポスター作成、放送による告知、来館者へのプレゼントのしおり作り、絵本の読み聞かせ、そして貸出業務、全て図書委員によって実施されました。前日は大変寒く、「当日はどうなるだろう」と心配されましたが、開催時間になると、快晴となり、暖かい日差しの中で、無事に終える事ができました。貸出冊数は、21冊、来館者数は正確には数える事はできませんでしたが、のべ人数30名以上の方は来てくださっていました。中には飛び入りで、読み聞かせをしてくれる方もいて、にぎやかに、そして楽しく終える事ができました。「この企画のおかげで久しぶりに本に触れる事ができた」と言っておられる方もいて、大変有意義な時間となりました。これからも「本が身近になる図書館」を目指して、図書委員会活動に取り組んでいきたいと思っています。



「青空図書館」の様子



来年も図書館で会いましょう！

